

科目名称：	造形表現指導法実習 I	
担当者名：	森田 ゆかり、坂井 亜也子	
区分	授業形態	単位数
専門教育科目	実習	1
授業の目的・テーマ		
<ul style="list-style-type: none"> ・子ども・親子などの活動を支援するため、年齢や実態に即した活動内容・環境・対応などを考え、実践する。 ・個々の「表現」や「思い」を捉え、記録し、見える形にする。 ・造形活動を通して人と関わる面白さ、協働する喜びなどを知る。 ・「3つのD」のサイクルの中で学び、環境構成、コミュニケーション、支援の力を身につける。 		
授業の達成目標・到達目標		
<ul style="list-style-type: none"> ・多様な考えや価値観を尊重し、造形活動を通して他者との信頼関係を築いていくことができる。 ・造形活動における子どもの心身の発達や対応についての基本的な知識を持っている。 ・子どもの姿（表情・行動・言葉）を捉え、記録し、次の活動に活かす技術を身につけている。 		

幼児教育学科	ディプロマポリシー（卒業認定・学位授与の方針）	重点項目
DP(1)	自己理解を深め目標に向かって主体的に行動するとともに、多様性を尊重し、子ども・保護者・地域住民との良好な信頼関係を築いていくことができる。	
DP(2)	保育・幼児教育を取り巻く様々な問題に取り組み幅広い教養を身につけるとともに、変化する社会に対応するための協働的な実践力を身につけている。	
DP(3)	保育・幼児教育の分野において、基礎知識を身につけるとともに、使命感、倫理観、責任感をもって専門的な知識や技能を修得し、これらを柔軟に活用していくことができる。	○

評価方法/ディプロマポリシー	定期試験	クイズ 小テスト	提出課題 (レポート含む)	その他	合計
幼児教育DP(1)					0
幼児教育DP(2)					0
幼児教育DP(3)			70	30	100
					100

実務経験のある教員の担当	担当教員の实務経験の内容（内容・経験年数を記載）	
あり	《内容1》森田 アートスクール講師（2歳児～小学生の絵画・造形指導）	《経験年数1》2年6か月
	《内容2》森田 アートディレクター（こども対象のワークショップなど企画・実践）	《経験年数2》4年10か月
	《内容3》	《経験年数3》
	《内容4》	《経験年数4》

備考

評価ルーブリック	すばらしい	とてもよい	よい	要努力
ドキュメンテーション	対象者の姿・気持ちを読み取り、他者に伝わるように記録することができる。	対象者の姿・気持ちを読み取り記録することができる。	対象者の姿（表情・行動・言葉）を捉え記録することができる。	対象者の姿（表情・行動・言葉）を捉え記録できない。
ディスコース（グループワーク・プレゼンテーション）	他者の考えを尊重し、自分の考えを他者が納得できるように伝えることができる。	他者の考えを尊重し、自分の考えを論理立てて伝えることができる。	他者の考えを尊重し、自分の考えも伝えることができる。	自分の考えが他者に伝わらない。活動にあまり参加していない。
デザイン	実践の場で年齢や実態に即した活動内容・環境・対応などを工夫して考えることができる。	実践の場で年齢や実態に即した活動内容・環境・対応などを考えることができる。	実践の場で活動内容・環境・対応などを考えることができる。	あまり考えず、作成に参加していない。
主体的・計画的取り組み（事前学修を含む）	授業の目標を理解し期待以上の主体的な学修が見られる。	授業の目標を理解し主体的・計画的に取り組んでいる。	授業の目標を理解し主体的・計画的に取り組もうとしている。	主体的・計画的に取り組めない。

授業の内容・計画	事前事後学修の内容	事前事後学修時間（分）
第1回 インターンシップに関して（ICT機器使用）	『特化造形表現・実践のまとめ』バックナンバーに目を通しておく。	30分
第2回 事前研修・おやこの広場あさがおドキュメンテーション演習	「おやこの広場あさがお」について調べ学習	20分
第3回 事前研修・おやこの広場あさがおドキュメンテーション演習	「おやこの広場あさがお」について調べ学習	20分
第4回 インターンシップ1（おやこの広場あさがお・『01 2ART』）	第3回の授業内容を復習。必要な物を準備しておく。	15分
第5回 インターンシップ1（おやこの広場あさがお・『01 2ART』）	第3回の授業内容を復習。必要な物を準備しておく。	15分
第6回 インターンシップ1のドキュメンテーション	インターンシップ1のメモを整理しておく。	15分
第7回 インターンシップ1の作品整理、ドキュメンテーションの共有、振り返り（ICT機器使用）	インターンシップ1のメモを整理しておく。	15分
第8回 インターンシップ2（おやこの広場あさがお・『01 2ART』）	第7回の授業内容を復習。必要な物を準備しておく。	15分
第9回 インターンシップ2（おやこの広場あさがお・『01 2ART』）	第7回の授業内容を復習。必要な物を準備しておく。	15分
第10回 インターンシップ2のドキュメンテーション	インターンシップ2のメモを整理しておく。	15分
第11回 インターンシップ2の作品整理、ドキュメンテーションの共有（ICT機器使用）	インターンシップ2のメモを整理しておく。	15分
第12回 インターンシップ1, 2を見える形にする（グループワーク）（ICT機器使用）	インターンシップ1, 2のドキュメンテーションを整理しておく。	20分
第13回 インターンシップ1, 2を見える形にする（グループワーク）（ICT機器使用）	インターンシップ1, 2のドキュメンテーションを整理しておく。	20分
第14回 オープンキャンパス「高校生の体験授業」	「造形表現指導法Ⅰ」第13, 14回授業での計画を確認。必要な物を準備。	15分
第15回 オープンキャンパス「高校生の体験授業」	「造形表現指導法Ⅰ」第13, 14回授業での計画を確認。必要な物を準備。	15分

事後学修時間については、受講するにあたっての最低限の目安を明記したが、単位取得のためには原則として授業時間と事前事後学修を含め学則第17条の2で規定された学修時間が必要である。
また、事前事後学習としては、上記内容以外に次回までの小レポートをまとめることになる。

成績評価の方法・基準

定期試験は、実施しない。 その他の評価配分は、以下のとおりである。

事前学修課題およびワークシート20%（毎回配付されるワークシートなどを授業内で各自作成し提出）、ドキュメンテーション50%、グループワーク・グループで見える形にしたもの・プレゼンテーション30%、

課題に対してのフィードバック

「ドキュメンテーション」をもとに→グループで「ディスコース」（必要に応じてさらに全体で「ディスコース」）→次の活動を「デザイン」することにより、学びのサイクルが生まれる授業を試みている（レッジョ・エミリアの「3つのD」KINJO特化造形表現モデル）。また、提出されるワークシートなどに担当者が目を通し、担当者も次回の授業をデザインしている。

教科書・参考書

教科書：『美育文化ポケット 第37号～第40号』公益財団法人美育文化協会、『特化造形表現・実践のまとめ 第18号』（教科書は適宜授業で使用する）
参考書：『特化造形表現・実践のまとめ』バックナンバー、必要に応じてプリント配付